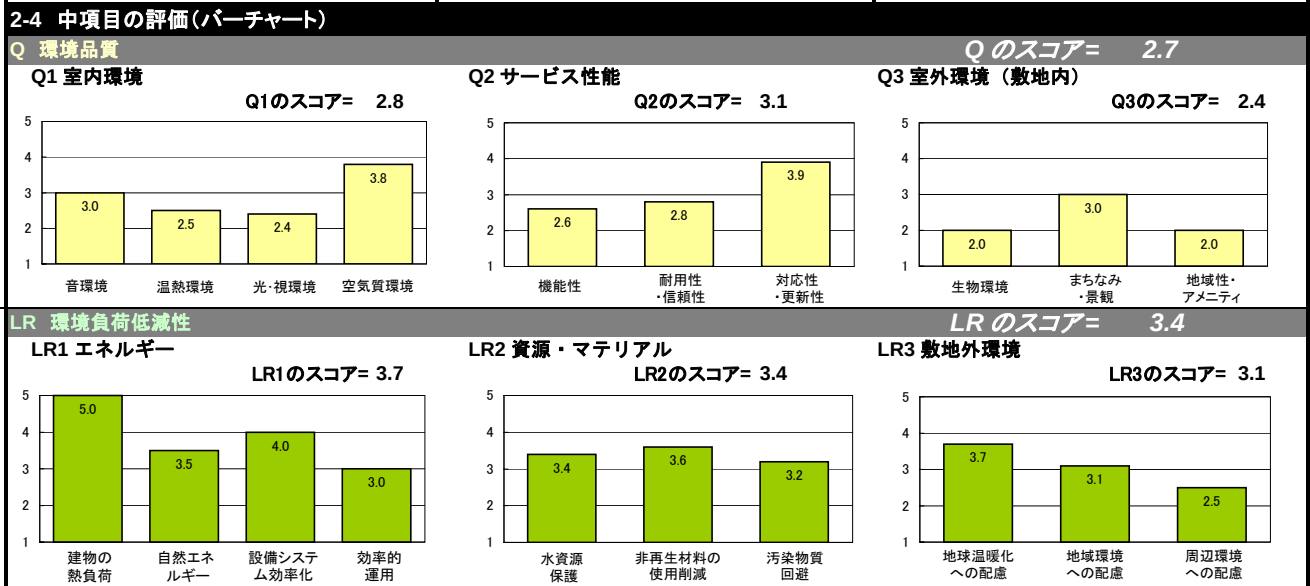
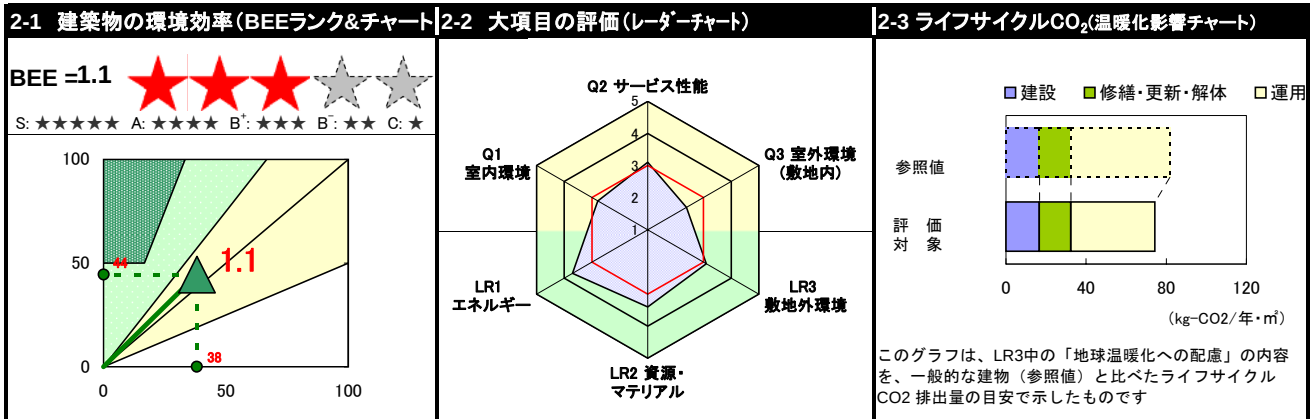


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	日新電機コンデンサ新工場	階数	地上2F	
建設地	京都府京都市右京区梅津高畝町4	構造	S造	
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	100 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,618 時間/年	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2011年1月18日	
敷地面積	83,103 m ²	作成者		
建築面積	2,291 m ²	確認日		
延床面積	3,741 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 工場として要求される品質の室内環境と、省エネルギー化、低環境負荷化など、総合的に環境効率を高めた設計としている。		その他 特になし
Q1 室内環境 ・断熱性の高い外壁。 ・採光効率と熱負荷を考慮した窓配置。 ・汚染物質の発生抑制	Q2 サービス性能 ・自由度の高いレイアウトを実現する空間構成 ・ゆとりのある階高、荷重設定	Q3 室外環境(敷地内) ・既存緑地の復旧、保全 ・四条通に面した緑地帯を保全し、街並みに潤いを与えている。
LR1 エネルギー ・屋上に100kW規模の太陽光発電システムを設置 ・高効率型の照明を採用	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル品、エコマーク認定品、グリーン購入法適合品、再利用可能製品(OAフロア)を採用 ・節水対策を実施 ・オゾン層の破壊防止	LR3 敷地外環境 ・大気の保全 ・廃棄物の削減・リサイクルへの取り組み ・周辺環境に対する影響を抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■「Q: Quality (建築物の環境品質)」、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい